

これまで備中櫓の名前の由来や性格について検討してきました。今回は備中櫓の外観について検討します。

現在あちこちで備中櫓の完成予想図を目にする機会があり、「何を今さら…」という感がなきにしもあらずですが、ここで今一度備中櫓の外観を復元するための基本的な資料となった絵図と古写真を紹介します。



図1 絵図に描かれた備中櫓(津山城資料編から)

図1は森家時代に描かれたと思われる備中櫓の絵図です。描き方が透視図法になっていないので若干変に見えますが、外観は白漆喰総塗籠で、一部が2階建てであり、1階の南面に格子窓が3つ、西面に1つ、2階の南面に1つあることが確認できます。また、格子窓の周囲には狭間(壁などに施された矢や鉄砲で攻撃するための穴)が設けられていることが見て取れます。

ちなみにこの狭間は円形、三角形、四角形などさまざまな形の実例がありますが、絵図の備中櫓では四角形に描かれており、低い位置にある正方形の狭間が「鉄砲狭間」、それよりやや高い位置にあり、縦長の長方形をしているものが「矢狭間」と思われます。この両者の違いは、弓は立って使い鉄砲は腰を落として撃つというその姿勢によるものです。

津山城百聞録

54 津山城備中櫓4の外観

一方、備中櫓が写っている写真は何枚が存在していますが、その中で最も鮮明に写っているのが写真1です。これは城の南側から撮影しており、左手に見える高い建物が天守で、その右手前に見えるのが備中櫓です。



写真1 備中櫓古写真(津山城資料編から)

この写真からも備中櫓は白漆喰総塗籠、一部2階建てであり、南面の格子窓が3つあることなどが見て取れ、図1に描かれた備中櫓が実物をほぼ正確に反映していることが分かります。

ただ残念ながら、絵図も古写真も備中櫓南面のものは存在するのですが、北面を知ることのできる絵図や古写真は現在のところ存在していません。

復元整備工事中の備中櫓は、これらの外観を知ることのできる絵図や写真、また発掘調査で確認できた櫓の規模、平面の形、そして江戸時代に描かれた精密な平面図などをもとに、細部については当時(江戸時代前期)の建築様式を参考にして決定されています。

なお、最終的には写真1にコンピュータ解析を実施し、窓の位置や軒先の位置などについて、現在復元中の備中櫓の設計図との間に矛盾がないかどうかという点も検証しています。

人間ドックに行ってきました。「しっかり運動して体重を減らさない」。近年、お医者さんから言われることが同じになってしまいました。先生、そう言われても簡単にはいきませんよ。トホホ。同じ悩みを持つ人はいらっしやいませんか。(郁)

食欲の秋到来! わが家の近くでイノシシが獲れ、その肝をもらいました。初めて食べたのですが、これがすごいパワー。残暑でもバリバリに働きましたよ。これから山は色付き、アケビ、クリ、ヤマイモなどが取れる。いい季節ですなあ。(X)

この夏、サンタフェ中高生訪問団に参加した生徒の話ですが、お土産のひとつに、ごんごまつりのうちわを持っていくと大変喜ばれてイラストのごんちゃんで盛り上がったそうです。ヨン様もすごいけど、ごん様もがんばりました。(e)

編集後記

今月の納税

固定資産税3期
国民健康保険料3期
介護保険料4期
納期限：9月30日(木)

ひとの動き

(8月1日現在)
人口 90,202人(前月比+53)
男 43,013人(同+23)
女 47,189人(同+30)
世帯数 35,159世帯(同+28)

7月中の異動数

出生 90人、死亡 46人
転入 259人、転出 250人

編集・発行 津山市企画部行政広報室
〒708-8501岡山県津山市山北520
☎0868-23-2111(代) 32-2029(直通) ☎0868-25-0263
Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp
津山市ホームページ <http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>
(PDFファイルで全紙面を掲載しています)

発行日 毎月10日
印刷 株式会社 廣陽本社

9月

2004